

開催日時：2003年8月22日（金） 9：30～12：30

場 所：カラスマプラザ21 8階 中ホール

参加者数：委員8名、河川管理者17名

## 1 決定事項

- ・ 本日の議論および各委員から寄せられた意見を元に、池淵部会長、榎村部会長代理、荻野委員にて意見書案を作成し、次回の利水部会（9/2開催）で意見交換する。

## 2 審議の概要

今後のスケジュールと審議の進め方について

- ・ 資料4「8月～10月の委員会、部会、運営会議の日程について」をもとに、今後のスケジュール、および検討会の審議の進め方について説明が行われた。

説明資料(第2稿)、具体的な整備シートについての意見交換

）河川管理者からの説明と質疑応答

河川管理者より、資料2-3-1（利水事業者がダムから撤退するとの内容の新聞記事）、資料2-1（大阪府営水道、阪神水道企業団の水需要予測）、資料2-3-2「水利権量と計画最大取水量の比較一覧表」、資料2-2「寺川委員からの質問と回答」、2-2補足「日本の年降水量、琵琶湖流域平均雨量表」について説明が行われた。主に、以下の事項について説明、意見交換が行われた。

新聞報道についての説明（大阪府、阪神水道企業団に確認したところ、「最終決定はしていない」との返事があった、等）

水需要予測の方法について（予測の流れに大きな違いが無いのであれば、有収率や負荷率をどの程度とするかで大きく数値が違ってくる、等）

水利権の転用について（利水者間での調整や転用にどの程度河川管理者が関わるべきか、等）

）委員による意見交換

利水部会としての意見書とりまとめに向けて、委員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・ 利水事業者から水需要予測が提出された際に、その内容に河川管理者がどこまで踏み込むべきかを部会として検討し、意見を言いたい。
- ・ 水需要管理という視点、利水事業の理念転換を、9月に提示される原案（案）には盛り込んでいただきたい。国土交通省が整備計画の中に考え方として示すだけでも、インパクトがあるはず。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。